

平成24年度 中間期

株 主 通 信

平成24年1月1日～平成24年6月30日

B U S I N E S S R E P O R T 2 0 1 2

中外製薬株式会社

ごあいさつ



左：永山 治会長 右：小坂 達朗社長

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成24年度中間期(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月

代表取締役会長
最高経営責任者

永山 治

代表取締役社長
最高執行責任者

小坂 達朗

目 次

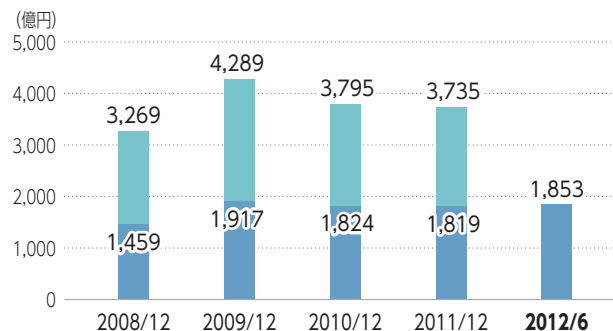
ごあいさつ	1	主な臨床開発の状況	9
連結財務ハイライト	2	主要製品	11
マネジメントメッセージ	3	くすりのはなし	12
TOPICS	6	会社の概況／株式の概況	13
特集「中外製薬の個別化医療」	7	株式インフォメーション	14

連結財務ハイライト

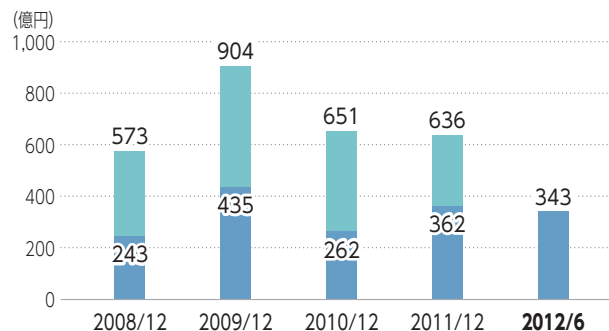


区 分		2008/12	2009/12	2010/12	2011/12	2012/6
売上高	(億円)	3,269	4,289	3,795	3,735	1,853
営業利益	(億円)	516	826	662	624	343
経常利益	(億円)	573	904	651	636	343
当期純利益	(億円)	393	566	414	352	209
総資産	(億円)	4,785	5,405	5,080	5,335	5,422
純資産	(億円)	3,971	4,347	4,494	4,591	4,694
1株当たり当期純利益	(円)	72.07	104.00	76.14	64.75	38.39
1株当たり純資産額	(円)	725.18	794.51	821.87	839.50	858.26

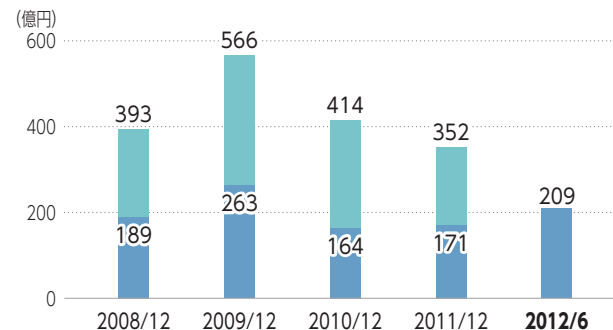
売上高



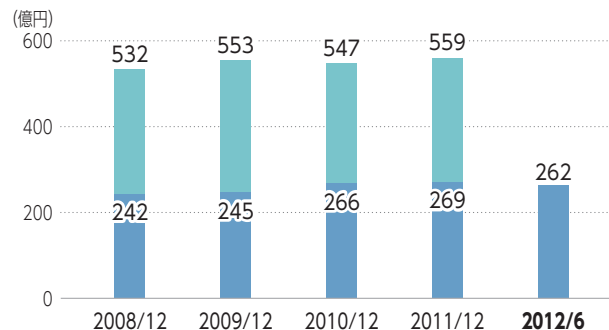
経常利益



当期純利益



研究開発費



マネジメントメッセージ



患者さん志向の革新を続け、
医療への貢献に邁進。その成果を通じて、
自らの企業価値を最大化してまいります。

代表取締役会長 最高経営責任者

永山 治

■ がん領域の成長とアクテムラの輸出拡大が進む

平成24年度中間期の連結売上高は、1,853億円（前年同期比1.9%増）となりました。

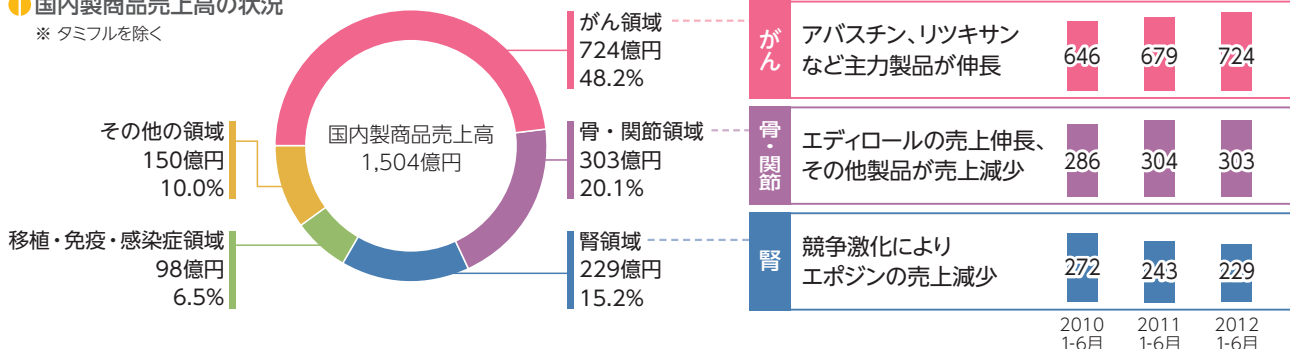
タミフルを除く国内製商品売上高の状況を見ると、「アバステチン」「ハーセプチン」など、がん領域が堅調な成長を示したことに加え、2011年に発売した「エディロール」「ミルセラ」の新製品による寄与がありました。しかし、長年の主力製品であった「エボジン」とC型肝炎領域の市場縮小による

「ペガシス」・「コペガス」の売上減少や、約6%の引き下げとなった薬価改定の影響も受けて、全体では1,504億円（同0.3%減）と前年並みの売上にとどまりました。一方、海外製商品売上高は、「アクテムラ」のロシュ向け輸出が拡大し、215億円（同11.4%増）と伸長しました。

利益面では、コスト効率の向上に努めて販売費及び一般管理費の圧縮を果たしたものの、薬価改定の影響と製品ミックスの変化による売上総利益の減少に打ち消される形

● 国内製商品売上高の状況

※ タミフルを除く



となりました。その結果、連結営業利益は343億円(同2.6%減)、連結経常利益は343億円(同5.2%減)にとどまりました。なお、前年同期に震災の影響による特別損失65億円を計上したため、連結四半期純利益は209億円(同22.2%増)と大幅に増加しました。

■ 研究開発は、引き続き順調に進捗

研究開発については、7月26日現在で4プロジェクトを厚生労働省に申請し、他にも多くのプロジェクトが後期ステージに移行しています。加えて、新たに4つのプロジェクトで臨床試験が開始され、引き続き充実した開発パイプラインを維持しています。

がん領域では、5月に乳がんを予定適応症とした「RG1273(一般名：ペルツズマブ)」を、6月に「RG1415(製品名：タルセバ)」の非小細胞肺癌(一次化学療法)への適応拡大を、それぞれ申請しました。骨・関節領域では、7月に大正製薬株式会社と共同開発中の「RG484(一般名：イバンドロン酸ナトリウム水和物)」について、骨粗鬆症を予定適応症として申請しました。また、自己免疫疾患領域では、3月に「アクテムラ」の関節リウマチの新剤形

(皮下注製剤)について申請を行いました。

さらに、リサイクリング抗体技術・スリーピング抗体技術といった革新的な抗体創製技術を活用した新規抗体医薬品の創製を早期に行っていくため、シンガポールに中外ファーマボディ・リサーチ社を設立しました。同研究所では、5年間で20以上の抗体創製を目指すこととしています。

当社は、今後ともアンメットメディカルニーズ(未だ有効な治療方法がない、未充足の医療ニーズ)を満たす研究開発に注力し、医療の発展と人々の健康に貢献していきます。

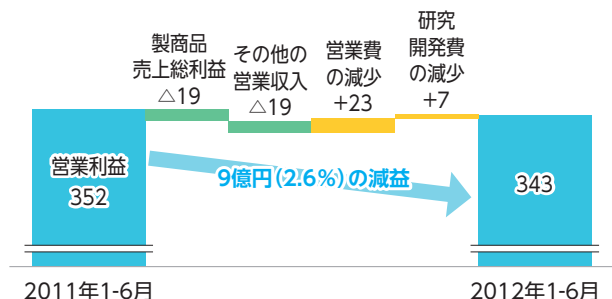
■ 将来性につながる重要な成長テーマとして、個別化医療を軸とした研究開発に注力

近年、当社は個別化医療に基づく創薬に注力しています。個別化医療とは、人それぞれに異なる遺伝子特性に着目し、一人ひとりの患者さんに対して最適な治療を行うものです。(個別化医療については、7～8ページをご参照ください)

当社の開発パイプライン全体に占める個別化医療関連プロジェクトの割合は、がん領域を中心に約70%と非常

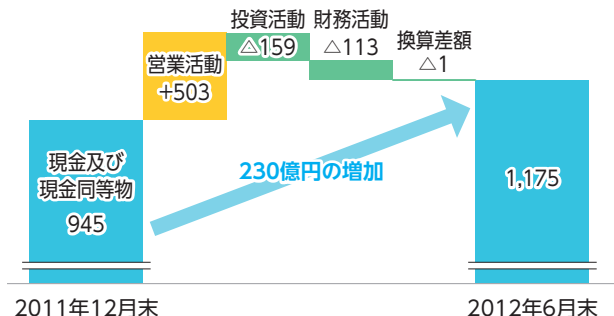
● 営業利益の増減内訳

(億円)



● キャッシュ・フローの状況

(億円)



に高くなっています。当中間期に申請した「RG1273」と「RG1415」も個別化医療に基づくプロジェクトです。

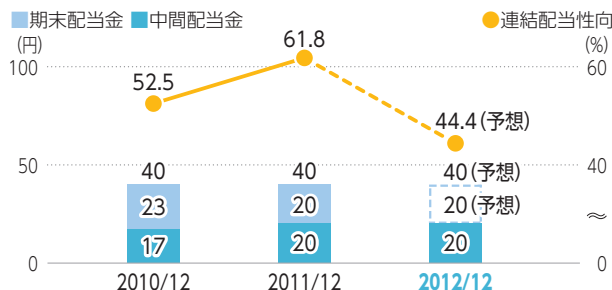
効果が高く副作用の少ない創薬を実現するだけでなく、適応拡大を含め、ライフサイクルマネジメントによる製品価値の最大化や、革新的な治療選択肢をもたらすなど、個別化医療を軸とした研究開発は、当社の将来性につながる重要な成長テーマになっています。

■ 安定配当を基本とする利益配分方針に基づき、1株当たり20円の間配当を実施

当社では、株主のみなさまに対する利益配分の基本方針として、安定的な配当の実施を掲げています。具体的には、将来に向けた戦略的な資金需要や、業績の見通しを勘案したうえで、平均して40%以上の連結配当性向を維持すべく努力しています。

この方針に基づき、今回の中間配当は、期初の予定通り1株当たり20円とさせていただきます。なお、期末配当についても同20円を予定しております。さらなる利益還元の拡大を果たすべく、今後とも業績の向上に努めます。

1株当たり配当金及び連結配当性向の推移



■ 「Sunrise 2012」の利益目標を達成し、トップ製薬企業の実現を目指す

中外製薬は、「革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献します」というミッションのもと、日本のトップ製薬企業という目標に向けて、積極的な取り組みを進めています。この日本のトップ製薬企業を目指す上でのマイルストーンである中期経営計画「Sunrise 2012」は、当期で最終年度となります。

当期の計画では、売上高4,185億円、営業利益800億円と、「Sunrise 2012」の目標に売上高は届かないものの、新製品・適応拡大製品のさらなる浸透により営業利益の達成を目指していきます。

当社はこれからも、日本のトップ製薬企業の実現を目指し、患者さん志向の革新を続け、医療に貢献する取り組みに邁進します。そして、その成果を通じて自らの企業価値を最大化し、株主のみなさまのご期待に応えていきます。



2012.JAN-2012.JUN

遺伝子組換えヒトDNA分解酵素製剤「プルモザイム®」 製造販売承認を取得(効能・効果: 嚢胞性線維症※における 肺機能の改善)

厚生労働省より製造販売承認を取得いたしました。

海外の臨床試験では、プラセボを対照として嚢胞性線維症の患者さんに対して、本剤吸入による肺機能の改善および重症気道感染症に罹患するリスクを減らすことが確認されています。



※嚢胞性線維症

欧米では出生児約2,500人当たり1人の発症頻度を示す発症率が高い遺伝性疾患ですが、日本人では約187万人に1人と推定される極めて稀な疾患です。嚢胞性線維症の原因は生体内のCFTR(塩素イオンチャネル)の遺伝子異常ですが治療法は確立していないため、呼吸器症状に対する去痰剤や気管支拡張剤の投与、感染症に対する吸入および全身性抗菌剤の投与など、対症療法を行っているのが現状です。

6月より「プルモザイム®」の販売を開始いたしました。

本剤は当該効能・効果において希少疾病用医薬品に指定されています。

抗悪性腫瘍剤「タルセバ®」の非小細胞肺癌(一次化学療法)に関する適応拡大の承認申請を行いました。

HER2陽性転移・再発乳がんを対象として開発を進めておりましたHER二量体化阻害ヒト化モノクローナル抗体ペルツズマブ(遺伝子組換え)の製造販売の承認申請を行いました。ペルツズマブは、世界でいち早く個別化医療に取り組んだロシュ社の乳がん治療薬「ハーセプチン®」と同様、HER2をターゲットとしたヒト化モノクローナル抗体です。

2012年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

社会貢献活動の一環として、慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所において、「健康」をキーワードとする寄附講座を開設いたしました。

医療政策や保健衛生などのさまざまな視点から地域・グローバルの両面で「健康」をキーワードに講義を行い、学生が「健康」という社会課題解決に向けて主体的に取り組むことを期待しています。

《寄附講座の概要》

大 学 名: 慶應義塾大学
講 座 名: 「健康への貢献:
CSR論からの新たなアプローチ」
開 講 期 間: 2012年春学期
(2012年4月~9月)
受 講 者: 慶應義塾大学学生
(全学部・全研究科を対象)

当社ウェブサイトの「病気とくすり」のサイト中に開設している『からだのしくみ』を大幅リニューアルいたしました。

新しい『からだのしくみ』では、閲覧される方ご自身がマウスを使って図を「動かして学ぶ」ことで、より簡単に理解を深めることができるようウェブの特徴を活かしたつくりとなっております。



からだのしくみ (トップ画面)

中外製薬の個別化医療

診断された病名が同じでも、病状は患者さんごとに異なり、治療による効果の表れ方もさまざまです。

そこで近年の医療現場では、一人ひとりの患者さんに対して最適な治療を行う「個別化医療」が注目を集めています。

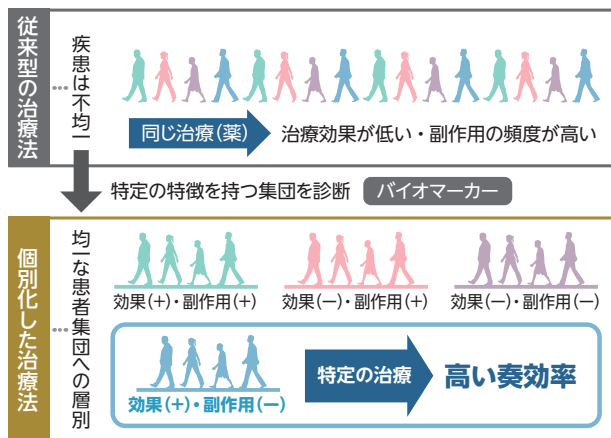
ここでは、当社が推進する個別化医療についてご説明します。

■ 個別化医療とは？

ある病気に対して同じ治療を行っても、その効果は患者さんによって大きな差があります。これは、人それぞれに異なる遺伝子特性が、体質的な個性を生んでいるためです。個別化医療は、この遺伝子特性の違いに着目し、各個性に合わせた治療を行うものです。

個別化医療では、疾患を進行させる分子のみに作用する「分子標的治療薬」と、「バイオマーカー」と呼ばれる体内の特定分子が、中心的な役割を担います。バイオマーカーの診断により患者さんを層別化した上で、高い治療効果が見込める患者さんだけを対象に分子標的治療薬などを投与します。

個別化医療の概念



■ 個別化医療がもたらすもの

個別化医療は、効果が高く副作用が少ないため、特にがん治療での活用が期待されています。

効果の見込めない治療を避けることで、患者さん自身だけでなく、医療従事者、規制当局・保健当局にも経済的なメリットをもたらします。これは、国民の医療費負担という観点からも有益です。

また、新薬をつくる製薬会社にとっては、効果が見込める患者さんを特定して少ない症例で臨床開発を実施できるので、研究開発の効率化が図れます。もちろん高い有効性によって、薬価の維持や市場への浸透、競争力といった点でも優位性を発揮するでしょう。

個別化医療が与えるベネフィット





キーパーソン・インタビュー

個別化医療に基づく創薬

常務執行役員
プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット長

田中 裕



新たな医療への貢献を目指し、
強い信念を持って
個別化医療を牽引していきます。

必然的とも言える個別化医療への流れ

当社の研究活動における最優先テーマは、従来の治療体系を大きく変えるような、画期的かつ独創的な新薬の開発です。それを実現する上で、個別化医療に基づく創薬研究は、重要な位置を占めています。

したがって、近年の創薬プロセスでは、研究の早期段階からバイオマーカーの探索に取り組み、個別化医療を想定した研究開発を行っています。

振り返れば当社は、これまでに他社に先駆けて先進的な抗体技術を開発してきており、また、標的たんぱく質の解析等においても世界屈指のレベルを維持しています。個別化医療を重視した研究への流れは、当社にとって必然であると言えるでしょう。

治療効果発揮のカギ「バイオマーカー」の探索

患者さんを適切に層別するための有効なバイオマーカーは、簡単に見つかるものではありません。当社では、さまざまな臨床データを対象にした研究や、ロシュ・グループの診断薬部門と連携した共同研究を通じて、バイオマーカーの探索に取り組んでいます。

また、個別化医療に基づく創薬だけでなく、すでに上市されている薬剤のより効果的な投与対象という観点からも、バイオマーカーの網羅的な探索が必要です。既存製品のコンパニオン診断薬(治療薬を投与する前に、患者さんの層別化や投与量調節のために使われる診断薬)が開発できれば、治療への貢献は多大です。さらに、これまでの研究段階で有効性が不十分であったプロジェクトについても、バイオマーカーをもとに層別化した患者さんを対象とすれば、高い有効性を発揮する可能性もあります。

個別化医療は、治療のあり方を大きく変えつつあります。新たな医療への貢献を目指し、当社は強い信念を持って個別化医療を牽引していきます。



















主な臨床開発の状況 (2012年7月26日現在)

























開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症	開発 地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] ＜共同開発＞
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	
● がん領域										
● RG1273 ペルツスマブ／製品名未定／注射	HER二量体化阻害 ヒト化モノクローナル抗体	乳がん	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div>12/05</div>			ロシュ [Perjeta]
		乳がん(アジュバント)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				
● RG1415 エルロチニブ塩酸塩／タルセバ／経口	EGFRチロシンキナーゼ 阻害剤	非小細胞肺癌 [1次化学療法](適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div>12/06</div>			ロシュ/OSI [Tarceva]
● RG435 ベパシスマブ／アバستن／注射	抗VEGF (血管内皮増殖因子) ヒト化モノクローナル抗体	胃がん (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>	<div></div>				ロシュ [Avastin]
		乳がん(アジュバント) (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				
		グリオブラストーマ (適応拡大)	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				
		グリオブラストーマ(再発例) (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>					
● RG3502 trastuzumab emtansine／ 製品名未定／注射	抗HER2ヒト化モノクローナル 抗体 薬剤結合抗体(T-DM1)	乳がん	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				ロシュ
● GA101(RG7159) obinituzumab／製品名未定／注射	ヒト化抗CD20 モノクローナル抗体	低悪性度 非ホジキンリンパ腫	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				ロシュ
		中高悪性度 非ホジキンリンパ腫	*	<div></div>	<div></div>	<div></div>				
● GC33(RG7686) 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗グリピカン3 モノクローナル抗体	肝がん	*	<div></div>	<div></div>					自社 ＜ロシュ＞
● RG340 カベシタピン／ゼローダ／経口	代謝拮抗剤 酵素活性化型5-FU誘導体	胃がん(アジュバント) (適応拡大)	日本	<div></div>	<div></div>					ロシュ [Xeloda] ＜ヤクルト本社＞
● AF802 一般名未定／製品名未定／経口	ALK阻害剤	非小細胞肺癌	日本	<div>(P1/2)</div>	<div>**</div>					自社
			海外	<div>(P1/2)</div>	<div>**</div>					
● WT4869 一般名未定／製品名未定／注射	WT1ペプチドがんワクチン	骨髄異形成症候群	日本	<div>(P1/2)</div>	<div>**</div>					自社/ 大日本住友製薬
		固形がん	日本	<div></div>						
● CIF(RG7167) 一般名未定／製品名未定／経口	MEK阻害剤	固形がん	日本	<div></div>						自社 ＜ロシュ＞
			海外	<div></div>						
● CKI27(RG7304) 一般名未定／製品名未定／経口	Raf/MEK阻害剤	固形がん	日本	<div></div>						自社 ＜ロシュ＞
			海外	<div></div>						
● PA799 一般名未定／製品名未定／経口	PI3KクラスI 阻害薬	固形がん	海外	<div></div>						自社
● MetMab(RG3638) onartuzumab／製品名未定／注射	ヒト化抗Metモノクローナル 抗体 (MetMab)	非小細胞肺癌	日本	<div></div>						ロシュ

開発コード 一般名／予定製品名／剤形	作用機序等	予定適応症	開発 地域	ステージ(時期)					オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売

● 骨・関節領域

● RG484 イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／注射	ビスフォスフォネート系 骨吸収抑制剤	骨粗鬆症	日本							ロシュ [Boniva(US) / Bonviva(EU)] <大正製薬>
● RG484 イバンドロン酸ナトリウム水和物／製品名未定／経口			日本							
● NRD101 ヒアルロン酸ナトリウム／スベニール／注射	ヒアルロン酸ナトリウム製剤	腱鞘炎付着部症(上腕骨外側上顆炎、膝蓋腱炎、アキレス腱付着部症、足底腱膜炎)	日本							自社

● 自己免疫疾患領域

● MRA トリスズマブ／アクテムラ／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプター モノクローナル抗体	関節リウマチ (新剤形：皮下注射剤)	日本							自社 [Actemra・RoActemra(EU)] <ロシュ>
			海外							
● SA237 一般名未定／製品名未定／注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプター モノクローナル抗体	関節リウマチ	日本							自社
● RG7415 rontalizumab／製品名未定／注射	ヒト化抗インターフェロン アルファモノクローナル抗体	全身性エリテマトーデス (SLE)	日本							ロシュ

● 糖尿病領域

● CSG452 トホグリフロジン水和物／製品名未定／経口	SGLT2阻害剤	Ⅱ型糖尿病	日本							自社
-----------------------------------------	----------	-------	----	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----

● 中枢神経領域

● RG1678 bitopertin／製品名未定／経口	グリシン再取り込み阻害薬	統合失調症	*							ロシュ
● RG7090 一般名未定／製品名未定／経口	mGluR5アンタゴニスト	大うつ病	*							ロシュ
● RG1450 gantenerumab／製品名未定／注射	ヒト抗アミロイドベータモノク ローナル抗体	アルツハイマー病	日本							ロシュ/ Morphosys

● 呼吸器領域

● RG3637 lebrizumab／製品名未定／注射	ヒト化抗IL-13 モノクローナル抗体	気管支喘息	日本							ロシュ
----------------------------------------	------------------------	-------	----	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	-----

● その他の領域

● CIM331 一般名未定／製品名未定／注射	—	アトピー性皮膚炎	日本							自社
-----------------------------------	---	----------	----	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	----

*：国際共同治験 **：第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験

□□：2012年1月以降の進捗

Phase1 (第Ⅰ相臨床試験) …… 同意を得た少数の健康人志願者(領域・疾患によっては患者さん)を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。

Phase2 (第Ⅱ相臨床試験) …… 同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3 (第Ⅲ相臨床試験) …… 同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

主要製品



● がん領域

アバスチン [®]	抗悪性腫瘍剤
ハーセプチン [®]	抗悪性腫瘍剤
リツキサン [®]	抗悪性腫瘍剤
ゼローダ [®]	抗悪性腫瘍剤
ノイトロジン [®]	好中球減少症治療剤
タルセバ [®]	抗悪性腫瘍剤
フェマーラ [®]	抗悪性腫瘍剤
カイトリル [®]	制吐剤



アバスチン[®]

● 腎領域

ミルセラ [®]	腎性貧血治療剤
エボジン [®]	腎性貧血治療剤
オキサロール [®]	二次性副甲状腺機能亢進症治療剤
レナジェル [®]	高リン血症治療剤



ミルセラ[®]

● 骨・関節領域

アクテムラ [®]	関節リウマチ治療剤
エビスタ [®]	骨粗鬆症治療剤
スベニール [®]	関節機能改善剤
アルファロール [®]	カルシウム・骨代謝改善剤
エディロール [®]	骨粗鬆症治療剤



アクテムラ[®]

● その他の領域

タミフル [®]	抗インフルエンザウイルス剤
シグマート [®]	狭心症・急性心不全治療剤
ペガシス [®]	ペグインターフェロン α -2a 製剤
コペガス [®]	抗ウイルス剤
セルセプト [®]	免疫抑制剤



タミフル[®]



くすりのはなし 3

日常生活の中でお役に立つ“くすりのはなし”。今回は、食前・食間・食後についてのおはなしです。



詳しくはホームページをご覧ください

中外製薬 くすりのはなし

検索

食前・食間・食後について

食前とは

食前とは、食事の20～30分前のことです。食べ物や胃酸の影響を受けない薬や、糖尿病の際に食事で高くなる血糖値を下げるための薬などは、食前に飲むことが多くなります。また、胃の調子を整える食欲増進剤や、食べたあとの吐き気を事前に抑える薬などは食前に飲むと効果的です。



食間とは

食間とは、食事の最中だと思われる方も多いようですが、食事と食事の間という意味で、食事を終えてから2時間後が目安です。刺激が少なく、空腹の状態で飲むと吸収が良い薬や、胃の粘膜を保護するための薬などは食間に飲みます。



食後とは

食後とは、食事の20～30分後までのことです。食事の後は胃の中に食べたものがあるので、胃への刺激が少なくなります。食後の薬は飲み薬の中で最も多いタイプです。主に食べ物と一緒にのほうが吸収が良くなる薬や、空腹時に飲むと胃を荒らす薬などは食後に飲みます。

食事ができなかったからといって薬を飲まないで、1日の有効成分量が不足してしまい、効果が得られないことがあります。クラッカーやクッキー 1枚だけでも胃に入れてから薬を飲めば、食後に近い状態になり、胃の保護にもつながります。

服用時間を守りましょう

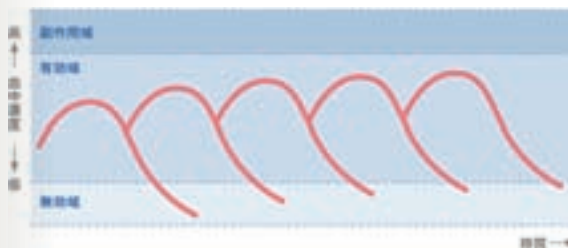
食前・食間・食後には、それぞれ意味があり、食事によって変化する胃の状態に合わせて服用時間が決められています。また、これ以外にも食直前（食事の直前）や食直後（食事のすぐ後）、就寝前、もっと厳密に何時と何時など医師が指定する薬もあります。いずれにしても正しい飲み方をしないと効果がでなかったり、副作用が現れたりすることがありますので、決められた服用時間を守りましょう。



また、服用時間は薬の血中濃度も考慮して決められています。薬は、一定の血中濃度がある時に効果を発揮します。それより低いと効果が現れず、高すぎると副作用などの心配があります。薬を飲んでから数時間たつと薬の血中濃度はだんだん下がってきます。これが下がりきらないうちに次の薬を飲むことによって、血中濃度を一定レベルに保つことができるのです。特にぜんそくや不整脈の薬などは血中濃度を一定に保つ必要があります。こうした意味からも服用時間を守り、規則正しく薬を飲むことが大切です。

何かわからないこと、不安なことがあるときには自己判断で服用時間を変えたりせずに、医師・薬剤師に相談しましょう。

【くすりの服用時間と血中濃度】



会社の概況／株式の概況 (2012年6月30日現在)



会社概要

会 社 設 立 1943年 (昭和18年) 3月8日
創 業 1925年 (大正14年) 3月10日
資 本 金 72,966,825,723円
従 業 員 数 6,886名 (連結)
本 店 東京都北区浮間五丁目 5 番 1 号
本社事務所 東京都中央区日本橋室町二丁目 1 番 1 号

役員

取 締 役

代表取締役会長 永山 治
 代表取締役副会長 上野 幹夫
 代表取締役社長 小坂 達朗
 取締役副社長執行役員 山崎 達美
 取締役専務執行役員 板谷 嘉夫
 社 外 取 締 役 大橋 光夫
 社 外 取 締 役 池田 康夫
 社 外 取 締 役 エイブラハム・イー・コーエン
 社 外 取 締 役 ウィリアム・エム・バーンズ
 社 外 取 締 役 パスカル・ソリオ
 社 外 取 締 役 ジャン-ジャック・ガロー
 社 外 取 締 役 ソフィー・コルノウスキー・ボネ

監 査 役

常 勤 監 査 役 達 保宏
 常 勤 監 査 役 三輪 光太郎
 社 外 監 査 役 原 壽
 社 外 監 査 役 石塚 達郎

株式状況

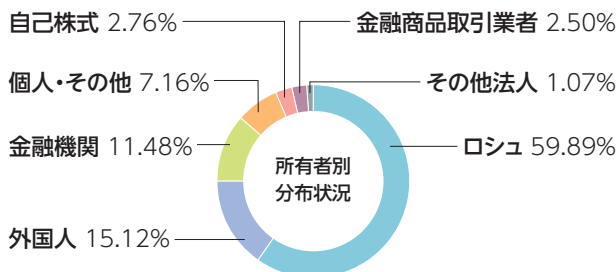
発行可能株式総数799,805,050株
 発行済株式の総数559,685,889株
 株主数46,887名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ROCHE HOLDING LTD	335,223	61.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,755	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,979	2.38
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	5,321	0.97
ドイツ証券株式会社	4,353	0.79
メロンバンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	3,911	0.71
中外製薬社員持株会	3,833	0.70
東京海上日動火災保険株式会社	3,787	0.69
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	3,734	0.68
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	3,697	0.67

※当社は自己株式15,469,916株を所有しておりますが、上記の大株主 (上位10名)の中には含めておりません。
 ※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。

株式分布状況



株式インフォメーション

株式 Q & A



特別口座にある株式を証券会社の
口座に振替たいのですが…



あらかじめ、証券会社に口座開設をした後
で、当社の特別口座の口座管理機関である
三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。
単元未満株式についても振替が可能です。
振替にかかる手数料はございません。



単元未満株式を処分したいのですが…



当社では、下記のように単元未満株式の
買取・買増請求制度を採用してお
りますので、特別口座の口座管理機関であ
る三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。

※ すでに、単元未満株式を特別口座から証券会社の口座に振替
えられた場合は、振替先の証券会社にお申し出下さい。

買増請求制度のご案内

買取請求制度について

100株(単元株)未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することが
できる制度です。

株主様の
100株未満株式

当社に対し
市場価格で **売却**

現金化

(例) 50株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が
買い取ります。

買増請求制度について

100株(単元株)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、
単元株にすることができる制度です。

株主様の
100株未満株式

当社から
市場価格で **購入**

100株

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

各種お手続きのお申し出先

- ① 証券会社の口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
- ② 特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行(下記までお問い合わせ下さい。)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-232-711 <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

● 今後のIRスケジュール

- 2012年 10月下旬 第3四半期決算発表
- 2013年 1月下旬 通期決算発表
- 3月下旬 株主総会

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
配当金 期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年6月30日
公 告 電子公告により行います。
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない
事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京



くすりの中に私がいます。

新薬が世に出るまで、10年以上。
病気はそれまで待ってくれない。

中外製薬は、グローバル・ネットワークを活用し
新薬開発のスピード化をすすめています。

人生の大切な時間にくすりが間にあうように。



CHUGAI

中外製薬

Roche ロシュグループ

<http://www.chugai-pharm.co.jp/>

UD FONT
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



中外製薬株式会社

Roche ロシュグループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
TEL.03(3281)6611 (代表)